

# 連日の国会質問で政府を追及 井上議員

井上さとし参院議員は、先週3回、今週も2回と続けて質問に立ち、文書のねつ造、改ざん、隠ぺいを繰り返す安倍政権の異常ぶりを追及しています。

## ◆参院外交防衛委員会 17日◆

### ①イラク派兵日報 「非戦闘地域」とはいえない



(写真) 質問する井上哲士議員=17日、参院外防委

16日に  
防衛省が公表  
した陸上自衛  
隊イラク派兵  
部隊(200

小野寺防衛相は同日の日報に「戦闘」の文言があるのを認める一方、サマワの情勢評価を「比較的安定」としました。

井上氏 イラク戦争の終結宣言は11年であり、それまではイラク全土で戦闘が行われていた。比較的安定していたからといって戦闘がなかったというのは違う。

### 宿营地等への砲撃 当時の日報も公開せよ

2年半にわたる自衛隊の派兵期間中、部隊の宿营地やその周辺に13回にわたって迫撃砲弾やロケット弾が撃ち込まれていました。井上氏は、「今回公開された日報には、攻撃が頻発した04年の日報の多くは含まれていない。」「すべてが明らかになるよう探索、公開を進めるべきだ」。

4(06年)の日報にいくつも「戦闘」と記載されていた問題で、井上さとし参院議員は、政府の見解をただしました。

小野寺五典防衛相が、陸自が活動していたサマワの情勢について「散発的な発砲事案があった」と説明していることに対し、井上氏は、「戦闘」という言葉が少なくとも8回記載され、06年1月22日の日報には「戦闘が拡大」と記載されていると指摘。「イラク特措法に定めた『非戦闘地域』に当たらない事態があったのではないか」。

## ②米英仏のシリア攻撃 米支持の根拠示せず

井上さとし参院議員は、米国が13日(日本時間14日)、シリア政府が化学兵器を使用したと断定して英仏と行った軍事攻撃に関し、日本政府が国際法上の根拠や兵器使用の事実を確認せず「理解する」と表明したことを厳しく批判しました。

## 化学兵器使用の事実説明はこれから 政府自身が認める

井上氏は、河野太郎外相が国際機関による化学兵器の使用の事実説明について「期待したい」と述べたことに言及。「事実説明されていないと認めた発言だ。それにもかかわらず米国が国連安保理の決議もないうまま一方的に軍事攻撃を行ったのは国際法と国連憲章を踏みにじる行為だ」と批判しました。

昨年4月の空爆も安倍首相が即座に「理解」

井上氏は、安倍晋三首相が昨年4月の米国のシリア空爆後、即座に「理解する」と表明する一方、攻撃の国際法上の根拠を米国に「聴取している」と述べたことに言及。「根拠について説明があったのか。今回の攻撃の根拠は何か」とただしました。

河野外相は、アサド政権が化学兵器の使用能力を有しているとし、「事態の深刻化を食い止めるための措置だったと理解していることは当時も今も変わらない」とする一方、「法的評価をすることは控える」と述べ、根拠について答えられませんでした。

### 安保理決議に沿った外交努力を

井上氏は「国際法に反する空爆を支持するのは米国追随と言われても仕方ない」と批判。

井上氏 国際社会の協力による真相解明と、シリアに関する国連安保理決議の提起に沿い、政府対話による内戦解決に向けた外交努力を強めるべきだ。